



学校だより

令和8年4月24日

5月号

学校教育目標
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校

「国語・算数って、おもしろい！」を目指して

副校長 石川 和之



さわやかな風が校庭を吹き抜ける季節になりました。お隣、お三の宮日枝幼稚園に張られたロープに、こいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。強い風が吹けば吹くほど尾びれをしっかりと振って力強く泳ぐ姿は、日枝っ子の子どもたちのたくましく育っている姿と重なり、つい「がんばれ！」と応援したくなります。

さて、昨日4月23日には「令和8年度全国学力・学習状況調査」に本校の6年生が取り組みました。私たち大人が小学生の頃に解いた問題とはかなり違ってきていて、国語でいうと漢字の書き取りを問う問題は1問のみ。あとは全て、ある学習場面や生活場面を想定した問題です。

問題用紙を開いてすぐに、挿絵と共に場面を説明する右のような文章が続きます。これを読んで、「おもしろそう！私も同じようなことをやったことがあるよ。」と思えると、この後に続く問題にもワクワクしながら取り組めることでしょう。つまり、「漢字ドリルや計算ドリル等を通して身に付けた知識・技能をどのような場面で活用できるか」こそ、求められるようになってきています。

本校が学校全体で目指している学校教育目標「生き生き日枝っ子」の育成。私たちは教育心理学でいう「内発的動機付け」に、とことん

までこだわって授業づくりをしています。「これ、テストに出ます」「100点取れたら、何か買ってあげる」といった「外発的動機付け」はそのときは効果が高いですが、なかなか持続しません。

「自分には〇〇ができるんだ」という有能感、自発的に行動している感覚を高める自己決定感、友達や地域の大人と一緒に学ぶ対人交流、こういったことを大事にしながら取り組んでいます。しかしこれがなかなか難しく、私たちも試行錯誤の日々です。42年前から本校で取り組んでいる「なかま（生活科・総合的な学習の時間）」の学習において、上記のように子ども自身が「取り組んでみたい！」と思える学習場面を設定して、そこに今回の学力・学習状況調査の問題で問われている力を身に付けられるよう国語や算数といった教科学習との関連を今年度は重点的に取り入れていこうとしています。授業や家庭学習において、「ねばならぬ」という「外発的動機付け」も効果的に使い分けながら、「国語・算数って、おもしろい！」こそを目指して、ぜひご家庭でもお子様の学習への意欲を応援していただければ嬉しいです。

5月14日には授業参観・懇談会・学校運営協議会が行われます。ワクワクしながら学び合う子どもたちの姿をぜひご覧いただき、保護者や地域の皆様と一緒に日枝っ子の健やかな成長を支えていけたらと思います。ゴールデンウィーク明けの5月も、様々な教育活動へのご理解とご協力をいただければ幸いです。

【国語の3つの大問の場面設定】

- ① 岡野さんの学級では、学校生活をより楽しくするために、休み時間の過ごし方を動画にして学校のみんなに紹介することにしました。岡野さんのグループは、草花遊びを紹介しようとしています。
- ② 花山さんの学級では、夏を快適に過ごすためのくふうについて調べて考えたことを書き、友達と報告し合うことにしました。花山さんは「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章を書いています。
- ③ 林さんの学級では、自分の心に残った文章について考えたことをまとめることにしました。林さんは「『苦手』と『嫌い』」という題名の文章を選んで読んでいます。